

2023年3月10日 第3423回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 長尾 副会長
<斉唱> 「我等の生業」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
<会長報告> *ガバナー事務所より
2023-24年度地区役員・委員会委員（正副委員長を含む）
ご就任委嘱の件について

- ・地区諮問委員会/地区指名委員会/パストガバナー 委員 小沢 一彦
- ・地区諮問委員会/地区指名委員会/パストガバナー 委員 小佐野 圭三
- ・ガバナー補佐/オンツー・シンガポール委員会 委員 岡田 英城
- ・地区監査委員会 委員 平松 廣司
- ・地区研修委員会 副委員長 田邊 一三
- ・姉妹地区委員会 副委員長 北村 理和子
- ・地区クラブ管理運営委員会 副委員長 小山 陽生
- ・インターアクト委員会 委員 小山 陽生
- ・青少年交換委員会 副委員長 勝見 慎一
- ・地区ローターアクト委員会 副委員長 齋藤 秀人
- ・地区ローターアクト委員会 委員 臼井 健
- ・補助金配分・VTT委員会 委員長 前田 長生
- ・財団資金推進委員会 委員 八巻 敏博
- ・米山奨学委員会 委員長 小山 美智恵

各会員

- <委員長報告> *八巻カウンセラーより青少年交換ホストクラブ説明会 報告
*社会奉仕委員会加藤 委員より10,000円プロムナード作戦について

- <幹事報告> *第8回理事役員会 報告
- ・年間プログラムについて
 - ・100%出席例会決算について
 - ・お花見親睦旅行について（延期）
 - ・インターアクト研修について
 - ・オリンピックスタジアム見学について
 - ・ピンクリボンについて（5/14（日）開催予定）
 - ・情報セミナーについて*参加申し込みツール法務生成プランニング導入について
 - ・姉妹クラブについて
 - ・例会座席について
 - ・ニコニコボックスについて
 - ・IMインターミーティングについて

4月8日（土）16:00～ 場所：メルキュールホテル

- <出席報告> *出席委員会 加藤 委員より3月10日の出席報告

| 会員数 | 出席対象者数 | 出席数(ZOOM出席数) | 欠席数 | メイクアップ数 | 出席率 |
|------|--------|--------------|-----|---------|--------|
| 116名 | 102名 | 61名(8名) | 41名 | 10名 | 69.61% |

<ニコニコ報告>

- ・三 役 永井信年会員、児玉信藏会員の新会員卓話楽しみにしております。よろしく願いいたします。
- ・椿、石田、比護、松本、木村、大石、岡田、上田、鈴木、大野、田中、福西、梁井、杉浦、南、八巻、藤村、江口、小平、上林、

新倉 健、小林 健、澤 田、齋藤 倫、小佐野、加賀本、高 橋、渡 邊、物 井 各会員
永井信年会員、児玉信藏会員、本日の新会員卓話楽しみにしております。
宜しくお願いします。

- ・永 井 会員 本日新会員卓話をさせていただきます。よろしくお願い致します。
- ・児 玉 会員 本日卓話を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。
- ・5番テーブル田邊マスター、鈴木豊サブマスター 先週7日に5番テーブルミーティングを甲羅で開催。三役、SAA、副SAA方にもお越し頂き13名での楽しい一時となりました。カニ尽くしのメニューと石田会員からの美味しい日本酒の差し入れもあり、会は大いに盛り上がりました。やっぱりいいですね！テーブルミーティング！！
- ・石 田、長谷川、松 岡、長 尾、勝 間、江 沢、兼 城 各会員
3月7日(火)、5番テーブルミーティングを甲羅本店で開催。カニづくしの美味しいお料理とお酒を堪能し賑やかで楽しい会でした。田邊マスター、鈴木豊司サブマスター大変お世話になりありがとうございました。石田会員、日本酒差し入れありがとうございました！
- ・加藤 博 社会奉仕委員長 いよいよ次回日曜日(3月12日)、10,000メートルプロムナードクリーン作戦を開催します。横須賀、三浦で総勢600名でのイベント、成功しましょう～。
- ・田 村 会員 先日、元横須賀ロータリークラブのみずほ銀行、根田さんにお会いしました。とてもお元気でした。皆様に宜しくお伝え下さいとおっしゃっていました。
- ・徳 永、上 林、江 沢、加賀本、高 橋、中村 博 各会員
野球のWorld Baseball Classic 開幕しました。侍 JAPAN 優勝目指してがんばれ～～！！
- ・永 井、新倉 健、高 橋 各会員 長尾副会長、本日の例会も緊急登板となりますが、会長代理宜しくお願いします。例会も楽しんでいきましょう。
- ・長 尾 副会長 本日も前田会長にかわり例会の進行を務めさせていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

<新会員卓話 1>

永 井 信 年 会 員

新会員の永井です。昨年6月に入会させていただきました。本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。私は1984年1月22日横須賀の共済病院で生まれました。年齢は39歳、血液型は典型的なB型です。父の出身は韓国の永川市で、母の出身は神奈川県横浜市です。兄弟は1歳年上の兄と2歳年下の弟がいて、私は三兄弟の次男坊です。趣味は料理とゴルフです。ゴルフは初めて10年くらいになりますが、スコアよりも楽しむことを重視しています。父が建設業を営んでおり、私は現在父の会社に勤めております。

私の家族をご紹介します。私の家族は同級生の妻と12歳の長女、10歳の次女、6歳の三女の3人娘と、4番目にしてやっと生まれた2歳の男の子の6人家族です。4番目も女の子だったらほんとにどうしようかと思いましたが、毎日にぎやかに暮らしております。

次に私の先祖について少しお話をさせていただきます。父は韓国人で、2歳の時に日本に来てから在日韓国人として生活をしており、昭和56年に日本に帰化したと聞いております。父が生まれた永川市はソウルから約300km南にある小さな町で大きさは日本でいうと愛知県の豊田市（トヨタ920km²）と同じくらいです。人口は約10万人程度の小さな田舎の町でリンゴ農家が多い地域です。永川市には先祖のお墓があり定期的にお墓参りに行きます。昔の韓国のお墓は山を丸ごとひと山購入して、土饅頭と言われる丸い盛り上がった土の形のお墓に埋葬するというのが一般的で、先祖のお墓も山の頂上にあります。私が小学生の頃はお墓に行くまでに荒れた山道をクワで草を切り分けながら約2時間掛けて歩いていました。現在は道が整備され、車で山の中腹まで行くことができますので、20分くらい歩けば行くことができます。皆様も韓国という国柄はご存じかと思いますが、韓国では男尊女卑や家父長制（かふちょうせい）の考え方が非常に強かった国です。お墓にはその名残がありまして、墓石には私の父と父の兄弟の名前、それと私と私の兄弟の名前は記されているのですが、女性の名前は一切記されていません。男性至上主義の韓国では、厨房に入って妻の家事を手伝うような男は女々しいとされてきました。いまの我が家は全く正反対の女性至上主義です。



母方の苗字は案間と言います。先祖に安間彦六という方がいたそうです。皆さんは安間彦六をご存じでしょうか？戦国時代に川中島の戦いというのが起こりまして、甲斐の国（山梨県）の戦国大名である武田信玄と越後の国（現新潟県）の戦国大名である上杉謙信が信濃国（現長野県）の川中島で約12年間の間に計5回の戦いをし、双方が勝利を主張したとされている戦いです。安間彦六は武田信玄につかえる武将で、上杉謙信との12年にも及ぶ川中島の戦いの中で、1564年の第5次の戦いで勝敗を決めるために、武田信玄の命をうけて、上杉謙信方の長谷川与五左衛門と一騎打ちをし、激しい戦いの末に討ち死にしたと逸話されている人物です。この長い戦いには所説あるようで真実は分かりませんが、祖父からはよく聞かされていました。また、祖父の叔父は書道家で有名な沖六鵬（通称ろっぽう）さんという方で、静岡では有名で日本書道連盟の副理事長も務めた偉大な方だと聞いております。

ここからは私の話をします。私と兄弟は小学校ではずっと一緒に野球をやっており、小学校の時は県大会にも出場しました。私は補欠、兄はエースで四番、兄の方が目立っていました。唯一私が少し輝いた出来事があります。小学校6年生の時に地域で相撲大会が開催されることになり、学校内で予選会をして、選抜メンバーを2名決めようということになりました。重量級1名、軽量級1名の選抜です。体重別に2つに分けられ、総当り戦で一番勝った人が代表になるということになりました。当時私は痩せていて身長も低く背の順も一番前でしたので、当然軽量級に分類されます。本当にチビだったので同級生からはこいつは楽勝だなど思われていましたが、私には自信がありました。日頃から兄弟とも遊びで相撲をしていましたのでとても鍛えられていたこと、それと私は相撲が好きで大相撲がテレビで放送されているときは必ず見ていました。当時は貴乃花や曙が人気でしたが私は舞の海や寺尾が好きでした。小さいのにキレのある動きで自分より大きい力士を倒す技を見ていて、兄弟とよく技の掛け合いの真似をして遊んでいたのです。そんなこともあり結果は8勝1敗で見事軽量級の代表に選ばれました。ここまでは良かったのですが、肝心の本選では緊張のあまり足を滑らせ1回戦であっけなく終わるというくやしい思い出です。

先ほど趣味は料理とお話ししましたが、私は料理を作るのが好きです。建設業の仕事をやる前は、料理人でした。ご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、私の母方の実家は一乃庵というそば屋を営んでおります。大矢部と公郷にお店があります。祖父が始めたお店です。宣伝するつもりはありませんが、ソバは3種類のそば粉をブレンドして作っています。ソバはもちろんおいしいのですが、マグロが絶品です。祖父はお店を始める前は三崎でマグロの仲買をしており、今でもマグロは仲買から直接買い付けることができ、上質なマグロが仕入れられます。話がそれましたが、私は小さい頃からおいしい食べ物を提供するという環境を見て育ちましたので、私も自分が作った料理を食べてもらいたいと自然と思うようになり料理人になりました。私の料理人としてのスタートは箱根にあるホテルでフランス料理のお店です。料理といえば下積みがあ

り厳しい世界とイメージされると思いますが、まさにその通りでした。朝は早く夜は遅い、また祝日は休めないのが当たり前、まわりの先輩たちは厳しい人たちばかり、おまけにフランス料理もまったく知らなかったので何度も心が折れそうになりました。それでも続けられたのはやはり自分は料理が好きだからです、食べ物に対しての感謝の気持ちが強かったからです。皆さんはご飯を食べるときに『いただきます』と言って食べるのが普通だと思います。私の実家はご飯を食べるときの言い方が少し変わっていて、『天地いっさいの恵みとこれを作られました人々のご苦労に感謝していただきます』というのです。変わっていますよね？子供のころからずっとご飯を食べるときはこの言葉でした。ただ料理を作ってもらうのに感謝するだけでなく、例えば野菜を育てる農家の方、お肉であれば家畜を育てる方、また命がけで魚を取ってくる漁師の方など、食材を作る人や取る人など、食べ物を口にするまでに関わってきた人たちにも感謝を下さいという意味です。世界では貧困に苦しむ方や、満足にお腹いっぱいご飯を食べられない人たちもたくさんいます。人は生活が豊かだとどうしてもありがたみを感じる気持ちが薄れるものだと思います。ですから我が家では、ごはんを食べるときに子供たちには食の大切さを伝え、これからも食べたいものが当たり前に見える事に感謝をしたいと思います。

私はフランス料理をずっとやっておりましたが、得意料理はパスタです。今日は美味しいパスタを作るコツを一つご紹介します。パスタはいろいろと種類がありますが、私がよく作るのはアーリオ・オーリオのパスタです。私はおいしいパスタを作るのに欠かせないのが乳化（にゅうか）という作業だと思っています。乳化って何かと言いますと、乳化とは互いに混ざり合わない2種類のものが、攪拌するなどして均一に混ざり合う状態のことをいいます。パスタの場合は、オリーブオイルとパスタの茹で汁です。つまり水と油です。乳化にはパスタの茹で汁に含まれるデンプンが乳化剤として重要な役割をしてくれます。乳化させることによってなめらかな口当たりになり麺ともよく絡みおいしいパスタとなります。ぜひ皆さんもご家庭で試してみてください。

食について色々お話ししましたが、当たり前のことですが、人は食べ物を食べないと生きていけません。誰もがほぼ毎日何かを食べています。そして美味しいものを食べると人は笑顔になり、幸せな気持ちになります。美味しそうに食べる人を見て作った人もまた笑顔になり、ああ作って良かったと嬉しく幸せな気持ちになります。私自身も食を通じて人と人との繋がりを大切にしたいと思っています。私は食べ歩きも好きです。この前は新潟の越後湯沢にへぎそばを食べに行ってきました。皆様はおいしいお店をたくさん知っていらっしゃると思いますので是非、教えて下さい。お酒も好きです。カラオケは少し苦手です。最後に歴史と伝統ある横須賀ロータリークラブの一員になれて大変うれしく思います。まだまだ不慣れなことも多いですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。本日はありがとうございました。

<新会員卓話 2>

児玉信蔵 会員

NTT東日本の児玉信蔵です。昨年の7月に入会させていただきました。本日は、自己紹介と私の会社の取り組みをお話しさせていただきたいと思っております。

私は昭和52年5月生まれの45歳です。妻と10歳の息子と5歳の娘の4人家族です。私は信蔵と申しますが、父は正蔵、祖父は安蔵と申しまして、蔵の字を受け継いでおります。息子には隆蔵と付けております。娘は普通の名前です。家は東京の西のほうにありまして最初は横須賀まで2時間ほどかけて電車で通っていたのですが、どうにも京急で眠ってしまいまして、隣のおじさんによりかかって小突かれるということを3回くらいやってもう無理だと思い、いまは県立大学駅の近くにワンルームを借りています。週の前半東京の家で在宅勤務をし、後半横須賀にくるという生活になっています。子どもと触れ合うこともでき、自由に使える時間も非常にありがたい生活をさせてもらっています。

生まれたのは群馬県高崎市です。だるま市が有名な街です。最近では小麦粉が取れますのでパスタの町として売り出し



ています。人気店がいくつかあってどこもおいしいのでお立ち寄りの際はぜひ召し上がってください。あとは、「かかあ天下」というのも土地柄としてよく言われます。もともと近くに富岡製糸場があり養蚕が盛んで女性が稼ぎ手だったことから、「かかあ天下」になっているようです。高崎で生まれまして、小学校までは高崎にいましたが、中学受験をして東京の中学に通いました。そのときは当時では珍しい新幹線通学というのをやりました。東京で家を借りるよりは通ったほうが安上がりです。新幹線は早いので高崎から東京の学校まで片道1時間半くらいで、そこまで大変ではなかったのですが、部活で疲れたりすると帰りの電車で寝てしまって、目が覚めたら新潟で雪が降っていたなんていうこともありました。

高校の時には、ロータリーの交換留学に行かせていただきました。夏休みの期間でしたがまずドイツ人の高校生が1か月私の家に泊まりいろいろ案内をし、そのあと私がドイツに行ってその方の家に1か月泊まるというものでした。私が行ったのはドイツ南部のウルムという地方の小さな都市でした。ミュンヘンまで車で2-3時間だったと思います。町の名物は二つありまして、一つがウルム大聖堂という教会です。教会としては世界で一番高い建物だそうです。もう一つが世界で一番傾いたホテルで、ギネスブックに載っているそうです。街で印象に残ったのはサッカー場です。街のいたるところにサッカー場があります。日本では子供の遊ぶスペースとしては、平らな土地に滑り台と鉄棒を置いて公園にするというのが普通ですが、ドイツでは公園にするのではなくサッカーゴールを二つ置いて好きに遊んでいいよとします。Bolzplatz (ボルツプラッツ) というそうですが、そういう場所がそこら中にありました。国にスポーツが根付くというのはこういうことなのかと感じました。もうひとつ、ホームステイ先のお父さんがお医者さんだったのですが、病院を見せていただいてお仕事の説明をしていただいたりしました。その時に伺った遠隔医療のお話が私の今の職業選択に若干影響しています。田舎の病院でしたが、大都市のミュンヘンと映像をつないで難病の患者の診断を行うということをしていて、距離の差を乗り越える情報通信の力を強く感じました。とても良い経験をさせていただきロータリーには感謝をしています。

大学を卒業しまして、NTT東日本に入社しました。入社以来企業のお客様のシステム周りのご相談に乗る営業の仕事をしております。横須賀支店へ来る前は、携帯電話会社を担当していました。

当社NTT東日本の目指すところについてお話しさせていただきます。大きく二つありましてひとつは通信をつないでいくことです。特に災害時にクローズアップされる部分ですが、いつも通信がつながりなにかあっても早急に復旧するということなのです。災害の時に役に立てそうなことで、災害用伝言ダイヤル171というものがありますので紹介させていただきます。大きな地震が起きるとその地域と連絡を取りたい人が増えて通信が容量を超えてつながらなくなります。そうしたときに伝言ダイヤルがあると、ご家族や大事な人にメッセージを伝えることができます。こちらをご覧ください。大雨で非難しなくてはならないと、ただ災害が発生している地域には電話がつながりにくいので、災害用伝言ダイヤルを使ってメッセージを残します。使い方は171を押した後、録音なら1を押して、そのあとあらかじめ決めていただいたご家族だれかの電話番号を入力します。この番号はここにかけるのではなく、その家族の伝言であることを特定する鍵の役割となります。そして、どこに避難しているとメッセージを入れます。お父さんは気になって電話をしますが、やはりつながりません。それで171を押して再生の2を押してからご家族だれかの電話番号を入れるとどこに避難しているか聞くことができるということになります。メッセージは20個いれられますので、このあとお父さんがメッセージを残せば、お母さんはそれを聞くことができます。これは固定電話だけでなく携帯電話でもソフトバンクでもKDDIでも使えます。皆さんも171という番号を覚えていただくのと、カギになる電話番号を何にするかご家族と決めておいていただければと思います。

最後に、まだ1年満たないですが、ロータリーで募金活動など参加しまして、これまで仕事ばかり利益追求ばかりで世の中が狭かったなと感じております。微力ながら今後お役に立ちたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 長尾 副会長

週報担当 岡田 圭太